



一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会

# AntinnyによるDDoS被害の実態

～私たちが何をやったというのか～

一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会  
中川 文憲





# ACCSWebサイトへの攻撃

## 発端

- ◆ 2004年3月1日、ACCSWebサイトに5000/秒を越える急激なアクセス（平時は2000～15000/月）。サイトダウン。
- ◆ ファイル共有ソフトWinny上で流通するマルウェアが原因。





## この10年で行われたこと

### URLの変更

- ◆ [www.accsjp.or.jp](http://www.accsjp.or.jp) から [www2.accsjp.or.jp](http://www2.accsjp.or.jp) へ  
(2005年1月25日)

### ISPの協力

- ◆ 全量調査
- ◆ 攻撃通信を破棄する仕組みの検討

### ソフトウェアメーカーの協力

- ◆ ウィルスパターンファイルの更新
- ◆ マルウェア駆除ツールの作成・配布





## 検討した対策案

### 物理的に強固な環境を構築

- ◆ 耐えうる環境を構築には、年間億単位の費用が必要

→ 断念

### マルウェア制作者・攻撃者に対する法的対応

- ◆ マルウェア制作者が発見できない可能性
- ◆ 攻撃者に攻撃意図がない可能性

→ 断念





## ターゲットになった原因

✎ P2Pファイル共有ソフトウェアの摘発に積極的に協力していたことで、恨みを買った？

- ◆ 2001/11/28 ファイル交換ソフトで世界初の刑事摘発
- ◆ 2003/11/27 「Winny」を使った公衆送信権侵害を刑事摘発





現在

攻撃は継続している





## DDoS攻撃の被害者として

✎ 対策には多大な費用と労力がかかる

◆ Webサイトが収益をもたらさないACCSでは、過大な費用はかけられない。

◆ 誰も得をしない。

✎ 現在では主たる広報ツールとなっているWebが使えないことは、表現や主張の手段を奪われることと同義





ご静聴ありがとうございました



**ACCS**

一般社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会

電話 : 03-5976-5175

Webサイト : <http://www2.accsjp.or.jp>

